
■ さろん | Mail News 2018/6/3 | #116 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

=====Vol.116 2018年6月3日(日)=====

さ | ろ | ん |

┌ ─ ─ ─ ┐

M | a | i | l | N | e | w | s |

┌ ─ ─ ─ ┐ ┌ ─ ─ ─ ┐ ┌ ─ ─ ─ ┐ ┌ ─ ─ ─ ┐

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
=====

INDEX

- | 【1】 予約受付中：6/16 さろん哲学 第94回 テーマ：「人の魅力について」
- | 【2】 予約受付中：6/17 朝さろん 〈81〉「影との戦い・ゲド戦記Ⅰ」 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：7/8 " 〈82〉「夜と霧」 / 〈リクエスト特集〉
- | 予約受付中：8/5 " 〈83〉「芋虫」 / 〈リクエスト特集〉
- | 【3】 開催の報告：5/19 さろん哲学 第93回 テーマ：「運命とはどういうことか？」
- | 【おしらせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
- | 【4】 関連イベント情報
- | 編集後記

CONTENTS

【1】 さろん哲学

第94回 テーマ：「人の魅力について」

次回さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2018年6月16日（土）15:30-17:30 *時間が通常と異なりますのでご注意ください。

テーマ：「人の魅力について」

進 行：野田

会 場：カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店1号室

参加費：1200円（ワンドリンク付き）

定 員：16人

▽司会から：

人に感じる魅力は何に由来するのか、自分がどのように魅力的でありたいか、

魅力的に感じるとどうなるのかなど、様々な問いについて考えます。

ご予約・ご質問はこちら⇒ salontetsugaku@gmail.com

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 会場は前回と異なりますので、ご注意下さい。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。ご不要の方はさろんのHP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

—— 【2】朝さろん／夜さろん ——

朝さろん〈81〉『影との戦い・ゲド戦記Ⅰ』 / 〈リクエスト特集〉

〃 〈82〉『夜と霧』 / 〈リクエスト特集〉

参加者の推薦による〈リクエスト特集〉がスタートしました。

みなさんから寄せていただいた推薦本を、毎月1冊ずつ一緒に味わいましょう。

前回『存在の耐えられない軽さ』には初参加者を含む11名に参加して頂きました。

開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 81st morning

『影との戦い／ゲド戦記〈1〉』 アーシュラ・K. ル＝グウィン / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：6月17日(日)9:05-12:00 *都合により開催週を変更しています

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内いたします）

本：『影との戦い／ゲド戦記 (1)』アーシュラ・K. ル＝グウィン
バリスタ (進行)：ひいらぎさん

内 容：

□あらすじ

『大魔法使いオジオンに、才能を見出された少年ゲド。自分に並はずれた能力がそなわっていることを知ると、魔法の力にさらに磨きをかけようと、魔法の学院に入る。得意になった彼は禁じられた呪文を唱え、自らの〈影〉を呼び出してしまい、〈影〉との果てしない戦いに引き込まれていくことになる。大賢人ゲドの若き日の物語』

□推薦者・ひいらぎさんからのコメント；

「私がゲド戦記シリーズ (『Earthsea (アースシー)』) を初めて読んだのは社会人になってからでした。「こういう物事の捉え方 (考え方) があったのかー!!!」と、ものすごい衝撃を受けました。その衝撃が、今もじわ〜んと残っているくらい。この本の中に、その時の私が探していた答えがあったわけではないのですが、大事なヒントをもらいました。ファンタジー作品の面白さというのは、創られた架空の世界のことなのに、自分の現実に重ねてみることができること。時には、自分のいる現実を理解する手助けをしてくれる。そして、いつ読み返しても古くなることがない。……ことかなと私は考えています。ということは (?), 読む人の現実と同じ数のアースシーの今があるわけです。なので、皆さんの中のゲドやアースシーの世界について話をするのができたら、また新しい視点でこの物語を楽しむことができるのではないかなと思っています。今回取り上げるゲドは、1巻の『影との戦い』ですが、ゲドの人生はこの後も続きます (全6巻)。1巻は、主な登場人物が魔法使いの男性ばかりで色味が地味な印象がありますが、2巻の『こわれた腕輪』以降、女性のテナーをはじめ、様々な立場、世代の人物が登場してきて、色彩豊かになっていきます。そして、ゲドたちが生きるアースシーの世界にも変化が……。というわけで、未読の方にはアースシー世界への入門書として、2巻以降のきっかけにもなると思います。」

◆朝さろん 82nd morning

『夜と霧』 ヴィクトール・E・フランクル／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年7月8日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度 (ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み)

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定 (ご予約時にご案内いたします)

本：『夜と霧』V・E・フランクル(みすず書房)

定 員：8名程度 (要予約)

バリスタ (進行)：大山さん

内 容：

□あらすじ

『「言語を絶する感動」と評され、人間の偉大と悲惨をあますところなく描いた本書は、日本をはじめ世界的なロングセラーとして600万を超える読者に読みつがれ、現在にいたっている。原著の初版は1947年、日本語版の初版は1956年。その後著者は、1977年に新たに手を加えた改訂版を出版した。世代を超えて読みつがれたいとの願いから生まれたこの新版は、原著1977年版にもとづき、新しく翻訳したものである。私とは、私たちの住む社会とは、歴史とは、そして人間とは何か。20世紀を代表する作品を、ここに新たにお送りする』

□推薦者・大山さんからのコメント；

「納得しがたい境遇に甘んじているとき、私は、本書にかいてあるような「今に見ている、わたしの真価を発揮できるときがくる (p122)」という心境になっていることが、よくあります。それは、「期待」にすがって苦しい日々をやりすごし、「現実をまるごと無価値なものに貶めること (p121)」、「目下の自分のありようを真摯に受けとめず、これは非本来的ななにかなのだと高をくく (p121)」る、というありようにはかなりません。そのことを、私は、著者からきびしく指摘されたと、この本をよんで感じています。

本書では、こうしたありようを「暫定的存在 (p118)」といい、とくに強制収容所においては「典型的な収容所心理 (p111)」であったとされ、主体性や感情ならびに節操といった人間性を失わせていった、といえます。／それは、毎日殴られるというおぞましい現実にたいして、「被収容者の心をとっさに囲う、なくてはならない盾 (p37)」だったといいますが、こうした「典型的な収容所心理」に入り込んで心を閉ざし、なんとか収容所の日々をやり過ごしていても、やがては完全に精神が破綻する多くの被収容者を、著者はまのあたりにしてきました。

著者はこうした過酷な状況下で、「生き延びる見込みなど皆無のときにわたしたちを絶望から踏みとどまらせる、唯一の考え (p131)」として、「わたしたちが生きることからなにを期待するかではなく、むしろひたすら、生きることがわたしたちからなにを期待しているか (p129)」を問い直すこと、そして、誰も身代われない自分に与えられた苦しみをとことん苦しみつくすこと、これらが不可欠であると悟りました。

この力強い言葉のみならず、この考えに至るまでに引用される哲学者の言葉も魅力的であり、私は、今回それらについてみなさんと議論してみたいとおもひ、推薦させていただきました。」

◆朝さろん 83rd morning

『芋虫』江戸川乱歩／〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：8月5日(日)9:05-12:00@渋谷 *都合により開催週を変更しています

本：「芋虫」(『江戸川乱歩傑作選』所収) 江戸川乱歩(新潮文庫)

バリスタ(進行)：大澤さん

予約受付中です；

salontetsugaku@gmail.com (担当：芹沢)

(予告)

◆夜さろん 第18夜

《定点観測としての読書会 ～川上未映子『ウィステリアと三人の女たち』～》

<http://www.shinchosha.co.jp/book/325625/>

8月～9月の夜に開催予定です。

過去の開催内容をHPに掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜AMに開催(場合によって開催週変更の場合あり)

《夜サロン》不定期開催

【3】さろん哲学

第93回 テーマ：「運命とはどういうことか？」

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018年5月19日（土）15:00-17:00

テーマ：「運命とはどういうことか？」

進 行：堀越

会 場：カフェミヤマ渋谷公園通り店第1会議室

参加者：16名

進行から：初参加者 2 名を含む総勢 16 名で、主に、運命とはどういうことか、なぜ他の言葉（必然）ではなく運命と呼ぶのかについて対話し、考えた。

近日中に HP に議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

ご感想などありましたらお寄せください； salontetsugaku@gmail.com

【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化が起きるかを試みる場所です。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

■001 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

■002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお

気軽に下記までご連絡下さい。みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで

salontetsugaku@gmail.com (担当：大村)

【4】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

From さろんラボ：001

[あたまの中を散歩するてつがくカフェ] 第32回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。

東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際には会場のご確認をお願いいたします。

次回日程が未定のため、決まり次第ウェブサイトとツイッターにてご案内します

運営・進行：くらち

定員：6～8名程度

参加費：無料

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、

もしくは sanpo.tetsugaku@gmail.com までご連絡ください (Gmail が受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト：<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

ツイッター：https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/

お申込み・ご質問：sanpo.tetsugaku@gmail.com (くらち)

From さろんラボ：002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第16回

テーマ：私が『生まれる』とは、どのようなことか？

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>

email : cafe.ante.table@gmail.com

(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

▽第3回 6/23 (土) 12:30～ 『統治二論』

「ソクラテスと亀」共催イベント

12:30 - 14:30 会場：双子のライオン堂書店

<http://ptix.at/ZyDMNu>

第4回 7/28 (土) 12:30～ 『社会契約論』

第5回 9/29 (土) 12:30～ 『法の精神』

▽Eテレ「世界の哲学者に人生相談」

毎週木曜 午後11時

<http://www4.nhk.or.jp/tetsugaku-soudan/>

▽『こどものてつがく・ケアと幸せのための対話』(シリーズ臨床哲学3), 大阪大学出版会

高橋 綾 (著), 本間 直樹 ほんまなほ (著), 鷲田 清一 (監修)

<https://www.amazon.co.jp/dp/4872595807>

▽『ソクラテック・ダイアローグ 対話の哲学に向けて』(シリーズ臨床哲学4), 大阪大学出版会

<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

▽『問い続ける教師 教育の哲学×教師の哲学』

多賀 一郎 (著), 苫野 一徳 (著)

<https://www.amazon.co.jp/dp/4761923636>

▽読書猿（『問題解決大全』）×原田まりる（『まいにち哲学』）対談

<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>

▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦（ちくまプリマー新書）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>

▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4c みやぎ・出版企画委員会,東京書籍

<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>

▽『作家、学者、哲学者は世界を旅する』ミシェル・セール

<https://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>

▽『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』デイヴィッド・イーグルマン

<https://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>

▽『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』青山拓央

<https://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>

▽『中動態の世界 意志と責任の考古学』國分功一郎

<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>

▽『社会にとって趣味とは何か』北田暁大・解体研 [編著]

<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店

<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>

▽「観光経験の現象学」エリック・コーヘン

5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽対話学舎えんたらいふ

ねりまの哲学対話“ねりテツ”

カフェ藤香想『わわわの話』

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

▽竹林茶話会 哲学Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公-差-転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/

▽読書と対話の会

<http://1love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイデディア

<http://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽東京メタ哲学カフェ

<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>

<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽ヨコハマ読書倶楽部

<https://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本の場所 (表参道)

著者自身による小説の朗読会

<http://www.honnobasyo.com/>

編集後記

メールニュース第116号をお届けします。

ホロッホーウ。フクロウです。

発行が予定日より遅くなり失礼しました。毎月月初の「イベント号」になります。

この週末いいお天気が続いています。

首都圏もまもなく梅雨入りと予報が出てますから、貴重な晴れ間を楽しみたいですよね。快晴の日には目に入りにくいですが、アジサイもきれいな花を咲かせています。

29日にゆるカフェがあったんですが、だんだん哲学カウンセリングっぽくなってる気がします。欧米では哲学プラクティスの代表的なものとして実践されてますが、参加者の嗜好や個性の化学反応で、哲学カフェっぽくもなれば、哲学カウンセリングっぽくもなれば、座談会っぽくもなる。

ゆるーい場所だからこそ興味深い現だとおもいました。

はじめての方のご参加も心からお待ちしています。

再来週は、土曜に「さろん哲学」、日曜に「朝さろん」と連続開催です。

さろん哲学（哲学カフェ）のテーマは「人の魅力について」。

朝さろん（読書会）は『影との戦い／ゲド戦記〈1〉』。

どちらもお申込み受付中です。気軽に遊びにいらしてくださいね♪

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集：（フクロウ）

さろん | Mail News 2018/6/3

⇒次号（6月15日発行予定）

さろん Mail News 第116号 / 2018年6月3日発行【イベント号】

編集・発行：さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

-
- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
 - ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
 - ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
 - ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
 - ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>
「さろん哲学」 Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>
「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>

「さろん工房」Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>

「あるぱか学校」blog <http://alpacagakkou.blog.fc2.com/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."
